

令和2年10月定例会

中東遠看護専門学校組合議会会議録

令和2年10月12日開会

令和2年10月12日閉会

中東遠看護専門学校組合議会

令和2年10月中東遠看護専門学校組合議会定例会

◎議 事 日 程

令和2年10月12日（月曜日）午後3時00分開会

日程第1 議席の指定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定

日程第4 諸般の報告

日程第5 議第5号 令和元年度中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算認定について

議第6号 令和元年度中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出
決算認定について

◎出席議員（17名）

1番	寺田幹根君	2番	根津康広君
3番	松野正比呂君	4番	富田まゆみ君
5番	嶺岡慎悟君	6番	山本行男君
7番	戸塚文彦君	8番	高橋美博君
9番	森杉典子君	10番	増田雅伸君
11番	櫻井勝君	12番	渥美昌裕君
13番	横山晴仁君	14番	倉部光世君
15番	内田隆君	16番	中根信一郎君
17番	岡戸章夫君		

◎説明のため出席した者

管理者 原田英之君
袋井市長

副管理者 松井三郎君
掛川市長

副管理者 袋井市副市長	鈴木茂君	磐田市長	渡部修君
御前 市長	柳澤重夫君	菊川市長	太田順一君
森町長	太田康雄君	監査委員	鈴木英司君
監査委員	大庭通嘉君	會計者 管理者	鈴木善之君
事務局長 兼総務課長	近藤利男君	校長	山本洋子君
副校長	鈴木賀奈子君	教務課長	山崎伸恵君
主幹	松野容子君	主幹	近藤由美君
総務課長補佐兼 庶務係長	荻原規代君	庶務係 査査	杉森梨絵君

(午後 3時00分)

○事務局長（近藤利男君） 皆さん、こんにちは。

本日は、大変お忙しい中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから、中東遠看護専門学校組合議会令和2年10月定例会を始めさせていただきます。

最初に相互の礼を行いますので、ご起立をお願いいたします。

(全員起立)

○事務局長（近藤利男君） 相互に礼。

ご着席ください。

会議に先立ちまして、組合を構成いたします3市におきまして、組合議会議員の改選がございましたので、新たに当組合議会の議員になりました皆様方をご紹介させていただきます。

順に、お名前をお呼びいたしますので、恐縮ですが、その場でご起立をお願いいたします。

最初に、磐田市選出の松野正比呂議員でございます。

○3番（松野正比呂君） はい。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局長（近藤利男君） 次に、袋井市選出の高橋美博議員でございます。

○8番（高橋美博君） 高橋です。よろしくお願いいたします。

○事務局長（近藤利男君） 次に、御前崎市選出の増田雅伸議員でございます。

○10番（増田雅伸君） 増田です。よろしくお願いいたします。

○事務局長（近藤利男君） 同じく、渥美昌裕議員でございます。

○5番（渥美昌裕君） 渥美です。よろしくお願いいたします。

○事務局長（近藤利男君） 紹介は以上でございます。

それでは、議長よろしくお願いいたします。

○議長（戸塚文彦君） 皆様、改めまして、こんにちは。それぞれお忙しい中ご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。

◎開会の宣告

○議長（戸塚文彦君） それではこれから、中東遠看護専門学校組合議会令和2年10月定

例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第1 議席の指定

○議長（戸塚文彦君） 最初に、日程第1 議席の指定を議題といたします。

今回新たに組合議員になりました磐田市議会選出の松野正比呂議員ほか3名の議席の指定を行います。

議席は、中東遠看護専門学校組合議会会議規則第3条第2項の規定により、議長において指定いたします。

議席は、お手元に配付した議席表のとおり指定いたします。

◎日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（戸塚文彦君） 次に、日程第2 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、10番、増田雅伸議員、11番、櫻井 勝議員を指名いたします。

◎日程第3 会期の決定

○議長（戸塚文彦君） 次に、日程第3 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（戸塚文彦君） ご異議なしと認めます。

従って、会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第4 諸般の報告

○議長（戸塚文彦君） 次に、日程第4 諸般の報告を事務局長からいたします。

○事務局長（近藤利男君） 議長、事務局長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） それでは、諸般の報告をいたします。

本日、中東遠看護専門学校組合議会10月定例会の開会にあたり、本組合管理者、袋井市長提出の議第5号及び議第6号の2議案を受理いたしました。

また、監査委員から、令和元年度中東遠看護専門学校組合会計等歳入歳出決算審査意見書が提出され、お手元に配付してございますので、ご報告申し上げます。

次に、本組合議会議員の選任についてご報告申し上げます。

本組合議会、御前崎市選出議員2名の選任届を4月28日付けで、また、袋井市選出議員1名の選任届を5月12日付けで、磐田市選出議員1名の選任届を5月25日付で受理いたしました。

以上で諸般の報告を終わります。

◎日程第5 議第5号及び第6号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（戸塚文彦君） 次に、日程第5 議第5号及び議第6号の議案を一括議題といたします。

本組合管理者、袋井市長から上程2議案に対する提案理由の説明を求めます。

○管理者（原田英之君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 管理者、袋井市長。

○管理者（原田英之君） 皆さん、こんにちは。令和2年10月中東遠看護専門学校組合議会定例会を開催していただきまして、誠にありがとうございます。

日ごろから、当組合及び東海アクシス看護専門学校の運営に関しましては、格別なるご理解とご協力をいただき、改めて厚くお礼申し上げます。

私のこのマスクは市長公室で作ってくれて、よそのお客さんが見えるときには袋井市の宣伝を兼ねてこれを使っておりますけれど、ただちょっと息苦しいんですね、難点を申しますと。しゃべるにあたっては無い方がいいし、普通のマスクの方がしゃべりやすいです。

最初に、学校の近況につきまして、ご報告申し上げます。

今年度はコロナの感染拡大、緊急事態宣言に伴って、本校は4月20日から5月22日まで登校を禁止し、その間オンライン授業で対応いたしました。

5月、6月と3年生が病院実習に行けなかった時期もございましたが、8月にその分の実習を実施することができ、カリキュラムもほぼ遅れることなく実施できております。

本校が開校してから28周年を迎えております。この3月までに1,688人の卒業生を送り出しました。管内5病院を中心に看護師として活躍をされております。

次に、この4月に入学いたしました1年生60人の居住地について申し上げますと、管内6市町の方が全体の約8割の48人です。残りの12人が管外で、この方の大半が浜松市に居住している方でございます。

管内5病院を中心とした地域の医療機関に、こうした学生の皆さんを送り出せるようしっかり育ててまいりたいと存じます。

それから、本年度の3月に卒業します予定者の55人の進路の状況でございますが、そのうち51名が採用内定をいただいております。進学を希望している者を除きますあと2名につきましても、今後採用試験を受験する予定でおります。

でも大切なことは、2月に実施されます看護師国家試験でございますので、これに全員が合格できるよう教職員一丸となって取り組んでいる状況でございます。

いずれにいたしましても、優秀な人材を育成して、中東遠地域の医療の発展に応じられますよう努力してまいりたいと存じますので、皆様方のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、本日提案をいたしました各議案につきまして、説明させていただきます。

最初に、議第5号 令和元年度中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算認定についてであります。決算の概要は、予算総額は3億8,500万円でございます。これに対する決算額は、歳入で3億7,805万円余、歳出が3億7,488万円余でございます。差引残額は316万円余となりまして、これを元年度から令和2年度へ繰り越すことにいたしております。

歳入歳出の主な点につきましては、歳入は今日おいでの構成市町からの分担金が3億円でございます。全体の約8割を占めております。

また、授業料、受験料などの使用料及び手数料が1,868万円余となっております。

歳出につきましては、職員給与費、非常勤講師謝礼、校舎の修繕料、学校施設管理委託料などの教育費が3億5千万円余で、全体の約90%強を占めております。

次に、議第6号 令和元年度中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出決算認定についてでございます。

令和元年度の予算総額が9,980万円でございます。歳入でございますけれども、決算で9,934万円余であります。この主なものは、市町からの負担金が3,711万円、それから

奨学生に対する貸与財源といたしまして、奨学基金からの借入金が4,581万円、管内5病院以外へ就職した卒業生等からは、返還金が、当然のことながら返還していただきますので、それが495万円余でございます。

次に歳出でございますが、決算総額は9,540万円余で、歳出の主なものは、奨学金としての在校生への貸付金が161人分で、5,685万円余でございます。

ただいま申し上げました内容で、今回の議案として上程させていただきました。こののち、事務局の方から詳細につきましてご説明をさせていただきます。

よろしくご審議の上、ご可決、ご承認を賜りますよう、お願いを申し上げまして私からの提案理由とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（戸塚文彦君） 以上で、提案理由の説明が終わりました。

ここで、議第5号令和元年度中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算及び議第6号令和元年度中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出決算に係る決算審査意見書について、監査委員の補足説明があればこれを許します。

○監査委員（鈴木英司君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 鈴木監査委員。

○監査委員（鈴木英司君） 監査委員の鈴木でございます。

決算審査意見に係る補足説明をさせていただきます。

本決算につきましては、地方自治法の規定に基づきまして、組合管理者である袋井市長から審査に付されましたので、去る7月20日、大庭通嘉監査委員とともに、袋井市役所において審査を実施いたしました。

審査の結果は、お手元に配付いたしました審査意見書のとおりでございまして、全体的に良好な事務の執行がされておりました。

看護師を取り巻く環境は、日々変化しており、コロナ禍の状況下において看護師はますます重要な役割を担っております。今後とも社会情勢に注視し、中東遠地域で活躍する看護師の養成に努められますよう要望いたしまして、補足説明とさせていただきます。以上でございます。

○議長（戸塚文彦君） ここで、しばらく休憩いたします。

（午後 3時15分 休憩）

(午後 3時30分 再開)

○議長（戸塚文彦君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

これから、上程2議案に対する質疑に入ります。

議第5号及び議第6号に対しましてご質疑等ありましたらお願いいたします。

○2番（根津康広君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 2番、根津康広議員。

○2番（根津康広君） 再質疑は何回ですか。2回ですか。

○議長（戸塚文彦君） 2回でお願いします。

○2番（根津康広君） それでは23ページの教育振興費3款1項2目、資料のほうは43ページです。ここの教育振興費についてお伺いしたいと思います。

この教育振興費にあたっては、推薦・社会人入学試験、一般入学試験があります。いい人材を多く入学してもらいたいということで、推薦入学とか社会人入学試験とか、一般入学試験ですね、定員枠がそれぞれ定まっています。推薦入試29人とか、これは入った人ですね。それぞれ定員枠はどういった基準で決めておられるか伺いたいと思います。

もうひとつは、今の定員60人から66人に増やす、令和4年度までにという方向が示されております。令和元年度決算におきまして、その準備といいますか受け入れ態勢といいますかどの程度準備のために行われてきたか伺いたいと思います。

次に、資料の46ページ、第109回看護師国家試験結果とあります。少し細かい質問ですが、5年連続受験者全員合格と書いてあるんですが、受験された人はこのとおりだと思いますが、受験していない人が学校の中にいらっしゃるのかどうかいないのか、気にかかったものですから、いつもこういうふうに受験者全員合格とついているので本来受けなければならない人が受けていなかったとかその辺の事情について、もしあればお願いしたいと思います。それから…

○議長（戸塚文彦君） 正確にするためにとりあえず3個にしてもらっていいですか。その後にもた。

○2番（根津康広君） あとはそれに関連して質問したいと思います。ここで切っちゃうとできないじゃないですか。

○議長（戸塚文彦君） 分かりました。

○2番（根津康広君） 最初に全体を言って、それに関連して質疑していくのが一般だと

と思いますが、ここで切るということですか。

○議長（戸塚文彦君） 関連するならどうぞ。

○2番（根津康広君） 学生のところについても伺います。退学・除籍ですか休学3人、長期欠席6人とあります。この辺の事情についても併せて伺いたいと思います。

あと、このところはどうしても関連して多くなるものですから申し訳ありませんけれども、学校を運営する場合、講師が非常に重要になってくるわけですが、講師等謝礼というところがあります。外部講師料、内部講師料と色々ある訳ですが、それぞれの全体が書いてあるので、どの程度の講師料を払っているのか、この辺について伺いたいと思います。

あと最後になりますが、46ページの参考にありますけれども、公文書公開のところに請求件数1件、公開件数1件とあります。その内容について説明していただきたいと思います。以上です。

○事務局長（近藤利男君） 議長。事務局長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） ただいま、根津議員からご質問があった点、全部で6点あったかと思うんですけれども、順番にご説明申し上げます。

まず、推薦・社会人、一般試験の定員をどういう基準で設けているかどうかということでございます。全体の定員でございますが、60人定員がございまして、推薦・社会人を合わせまして30名、一般の試験で30名とそれぞれ半分に区切って試験を行っているという状況でございます。

次に、60人から66人に増やした場合、準備しているものは何かあるのかというご質問でございます。60人から66人に定員を増やすということにつきましては、令和2年度に当初する予定でございましたけれども、昨年度の2月議会でも報告させていただきましたけれども、令和2年度を令和4年度の4月に延ばすということで2年先送りにした形にいたしております。ということで、令和元年度に予算として準備しているものは特にございません。

次に、5年連続国家試験に合格しているけれども、実際に全員が受験しているのかどうかというご質問だったかと思えます。基本的には卒業を予定している者は全員が受験しております。受験していない生徒につきましては、ここ数年といいますか、ほぼいないのではないかと認識しております。

次に、学生の退学、休学、長期欠席の状況でございます。まず、退学・除籍で3人とありますが、除籍となった者はありません。退学した者が3人おります。これにつきましては、3人のうち1人は精神的、メンタル的なもので退学をしております。あと1人は経済的な理由で、経済的に修学するのが難しいケース、もう一人は進路が自分の考えていたことが看護とは違っていたという進路の誤りがあったということで退学をされております。休学につきましては3名おりますけれども、そのうちの2人はメンタル、あと家族の介護をするために休みたいということで休学をした者が1名おりました。長期欠席につきましては、メンタルの部分もありますし、実際にご病気で短い間休むという生徒さんがいらっしゃいますので、そういった形の理由となっております。

次に講師謝礼で払っている金額がいくらあるかというご質問だったかと思えます。講師謝礼につきましては、24ページの教育振興費のところの備考の2番目に講師等謝礼14,632,776円ということでこちらが決算額となっておりますので、こちらが講師に払っている謝礼の金額でございます。

続きまして公文書公開の関係ですけれども、公文書公開につきましては、体育館の天井の耐震化工事をしておりますけれども、その設計書についての公開請求が1件ございました。以上説明とさせていただきます。

○2番（根津康広君） 議長。根津。

○議長（戸塚文彦君） はい。

○2番（根津康広君） ありがとうございます。もう一度分からない点について質疑させていただきますが、一つは、推薦・社会人入学試験です。これについては、推薦と社会人入学で30人、一般入学試験が30人、半々にしてあるわけですね。そのうち推薦入学と社会人入学、今回は推薦入学が29人で、社会人入学が1人だということは、たまたまなったのか、これは個別に定員枠を設けているのかあるのかないのか。30人中ひとつの枠でやっているのかについて伺いたいと思います。

それから学生数の下のところであります。退学・休学のところでお話しありました。この中の1人の方が経済的に難しい状況にあったというお話しでしたが、奨学金貸与の制度がある訳ですので、そこら辺も含めて対応なさったのか。ほかの制度も活用したのか。せっかくいい人材を入学していただいて成長していただかなければならない中での対応について伺いたいと思います。

それから最後ですが、先ほど言いました講師謝礼の件ですが、議案書にちゃんと書い

であるわけですが、私が聞きたかったのは1人の単価、例えば1時間いくらとか半日いくらとか、一体中東遠の場合はどのくらい謝礼を出しているのかという具体的な質問ですので、そのような答弁をお願いしたいと思います。以上です。

○事務局長（近藤利男君） 議長。事務局長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） それでは根津議員の再質問にお答えをさせていただきたいと思います。まず1点目、30人の枠が推薦と社会人に、先ほどいった29人と1人といったことで、明確な基準があるかどうかというご質問だったかと思います。明確な基準はございません。推薦入学の方と社会人入試の方と受験していただく科目は多少違いますけれども、実際に国語とか共通する学科もございますので、そういったところを照らし合わせて全体で30人になるように、推薦・社会人のほうから実際に選考しています。年によっては1人ではなくて2人、3人、多い時には確か7人というときもあったかと思っておりますので、そのときそのときの選考で内訳は変わってくるかと思っております。

次に経済的理由で辞めた生徒にきちんとした指導をしていたかというご質問だったかと思っております。これにつきましては、奨学金制度の活用は第一だと思っておりますので、そういった奨学金制度の説明はしてございます。この生徒さんの場合はそれでもなかなかそういったことが難しいということで一度休学をしています。休学した中で学費を少し稼ぐといえますか学費を捻出して復帰を考えておりましたけれども、最終的に退学をされたという経緯がございました。

次に最後の質問ですけれども講師の報酬がいくらかどうかということで、こちらは一律で2時間10,800円ということで、一律でお支払いしております。以上答弁とさせていただきます。

○議長（戸塚文彦君） すみません。私の方から皆さんにはじめにお願いしなかったのは大変申し訳なかったのですが、正確な答弁をしていくために1回の質問で2問までにしていただいてそれ以上の方は終わった後挙手していただいて質問していただくという形にさせていただきたいと思っておりますので、すみませんがよろしく申し上げます。

それでは他にございますか。

○4番（富田まゆみ君） はい。

○議長（戸塚文彦君） 4番。富田議員。

○4番（富田まゆみ君） 4番、富田まゆみです。44ページの学生数のところで今根津議

員からあった質問と関連しますが、復学が4人と書いてありますけれども、例えばメンタルとかいろいろな形でお休みされた方が復学されていると思うんですが、その後の復学後きちんと卒業ができているのか。それからどういった形で復学された生徒さんのサポート支援をされてきたのかということをお教えください。お願いします。

○副校長（鈴木賀奈子君） 議長。副校長。

○議長（戸塚文彦君） はい。鈴木副校長。

○副校長（鈴木賀奈子君） ただいまのご質問に回答させていただきます。復学4名ということですが、それぞれの理由がございまして、主なところにおきましては体調不良そしてメンタルの部分がございまして、メンタルの部分におきましてはチューター教員がおりますので、個人的に学生の背景を考えながら指導しております。そして体調不良につきましては、そのところが回復したというところで整ってはきたとしても、学業が継続できるか否かということも併せてチューター教員が中心に指導し、継続できるようにサポートしております。全体としましては学生1人についてチューター教員がそれぞれついておりますので、就職試験、国家試験と生活全般に関して色々なことが相談できるような体制を整えております。チューター教員が迷っていたら学年の相談窓口の教員に相談し、そして教務課長、副校長、校長に相談するというようなことで指導させていただいております。以上でございます。

○議長（戸塚文彦君） よろしいですか。ほかにもございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようでありますので、以上をもちまして議案に対する質疑を終わります。

お諮りいたします。

これから討論に入りますが、討論を省略して直ちに採決に入りたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（戸塚文彦君） ご異議なしと認めます。

従って、直ちに採決に入ることに決定いたしました。

これから採決に入ります。議第5号及び議第6号の2議案を一括して採決いたします。

以上2議案を、原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（戸塚文彦君） ありがとうございます。

起立全員であります。

従って、議第5号及び議第6号の2議案は原案のとおり決定されました。

◎閉会の宣告

○議長（戸塚文彦君） 以上をもちまして、今期定例会に付議された事件は、全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の会議を閉じ、中東遠看護専門学校組合議会令和2年10月定例会を閉会いたします。

（午後 3時50分 閉会）